安全データシート

整理番号　No.1003　　作成　1998年03月13日　改訂　2021年06月01日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名　パックテスト pH-BCG　　型式　WAK-BCG

会社名　株式会社共立理化学研究所
住　所　〒226-0006 神奈川県横浜市緑区白山1-18-2 ジャーマンインダストリーパーク
電話番号　045-482-6937
ＦＡＸ　045-507-3418
担当部署　営業部
用途と使用上の制限　水質測定用の試薬

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性：刺激性
その影響：吸入又は経口摂取すれば有害である。眼、皮膚、粘膜に接触すると刺激作用がある。
長期暴露による不快感、吐き気、頭痛等が起こるおそれがある。

【ＧＨＳ分類】

物理化学的危険性：	分類できない	(GHS分類に必要なﾃﾞｰﾀなし)
健康有害性：	すべて区分外または分類できない	(GHS分類に必要なﾃﾞｰﾀなし)
環境有害性：	分類できない	(GHS分類に必要なﾃﾞｰﾀなし)

【ＧＨＳラベル要素】
なし

【注意喚起用語】
なし

【危険有害性情報】
なし

【注意書き】
試薬は子どもの手の届かない、乾暗所（常温）に保管すること。
使用前に使用法をよく読み、記載以外の使い方をしないこと。
必要に応じて個人用保護具を使用すること。
試薬を吸入しないこと。
汚染された衣類は洗濯すること。
取扱い前後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

3. 組成、成分情報

単一製品･混合物の区別：混合物

試薬名	K-1 試薬		
化学名	ﾌﾞﾛﾓｸﾚｿﾞｰﾙｸﾞﾘｰﾝ	その他*	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ
含有量	＜1%	＜11%	＞88%
化学式	$C_{21}H_{14}Br_4O_5S$	－	$(C_2H_4)_n$
官報公示整理番号	－	－	(6)-1
CAS No.	76-60-8	－	9002-88-4

＊規制物質含まず

4. 応急措置

試薬や測定液が
　眼に入った場合　：　直ちによく洗眼する。
　皮膚に付いた場合：　直ちに多量の水でその部分をよく洗い流す。
　口に入った場合　：　直ちに多量の水で口の中をよく洗い流す。
内容物を飲み込んだり、上記の措置後に異常があった場合には、直ちに医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法　　：　火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
消 火 剤　　：　水(噴霧)、粉末消火薬剤、炭酸ｶﾞｽ、乾燥砂

6. 漏出時の措置

屋外では、試薬や廃液がこぼれないよう注意する。
屋内では、机面・床面等に試薬や廃液がこぼれた場合は直ちに拭き取り、廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：　試薬は眼や皮膚に触れたり、口に入れたりしないように注意する。特にﾁｭｰﾌﾞ内の粉末試薬は吸い込まないように注意する。
　　屋外での使用時には、試薬および測定後の廃液、使用済み容器は必ず持ち帰る。
保管　：　直射日光を避け、換気のよい乾暗所（常温）に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度（作業環境評価基準）：　設定されていない。
許容濃度（日本産業衛生学会）：　設定されていない。
　　(ACGIH(TLV(s)))　：　設定されていない。
　　(OSHA(PEL))　：　設定されていない。
保 護 具：　保護眼鏡･保護手袋等の使用が望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態：粉末入りﾁｭｰﾌﾞ 1.1g×　50本/ｷｯﾄ 5本ずつｱﾙﾐﾗﾐﾈｰﾄ包装
試薬の色　　：　暗青色(粉末)、半透明(ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾁｭｰﾌﾞ)
試薬の臭い　：　なし
混合物として融点、沸点、引火点、発火点、爆発限界下限、蒸気圧、密度、比重、溶解性、Pow、動粘性率等のﾃﾞｰﾀなし。

10. 安定性及び反応性

高温、多湿、直射日光下への放置を避ける。
通常の使用条件では安定であり、特定条件下で生じる危険な反応もなし。
危険有害な分解生成物についてのﾃﾞｰﾀなし。

11. 有害性情報

混合物についてのﾃﾞｰﾀはない。個別物質について記す。
ﾌﾞﾛﾓｸﾚｿﾞｰﾙｸﾞﾘｰﾝ
　急性毒性：腹腔-ﾗｯﾄ LD:>1600mg/kg(RTECS)
　　皮下-ﾗｯﾄ LD:>1600mg/kg(RTECS)
　その他の項目についてのﾃﾞｰﾀなし。

ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ：
　急性毒性：経口-ﾗｯﾄ LD_{50}:>7,950mg/kg（下記、ATEmix値算出時は7,950mg/kgとして計算）
　発がん性：IARCのｸﾞﾙｰﾌﾟ 3（ﾋﾄに対する発がん性は評価できない。）
　その他の項目についてのﾃﾞｰﾀなし。

以下、混合物としてのGHS分類判定について記す。
〔急性毒性(経口)〕、〔急性毒性(経皮)〕、〔皮膚腐食性／刺激性〕、〔眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性〕、
〔呼吸器感作性または皮膚感作性〕、〔生殖細胞変異原性〕、〔発がん性〕、〔生殖毒性〕、
〔特定標的臓器毒性(単回暴露)〕、〔特定標的臓器毒性(反復暴露)〕、〔誤えん有害性〕
以上の項目は、区分外または含有成分のﾃﾞｰﾀがそろっていないため分類できない。

12. 環境影響情報

混合物についてのﾃﾞｰﾀはない。個別物質について記す。
ﾌﾞﾛﾓｸﾞﾚｿﾞｰﾙｸﾞﾘｰﾝ、ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ：環境影響情報についてのﾃﾞｰﾀなし

以下、混合物としてのGHS分類判定について記す。
〔水生環境有害性　短期(急性)〕、〔水生環境有害性　長期(慢性)〕
以上の項目は、含有成分のﾃﾞｰﾀがそろっていないため、分類できない。
〔ｵｿﾞﾝ層への有害性〕
含有成分がﾓﾝﾄﾘｵｰﾙ議定書の附属書に列記されていないため、分類できない。

13. 廃棄上の注意

事業活動で使用する場合は、各関係法令に従って適切に廃棄する。
それ以外の場合は、残余廃棄物や使用済み容器はそのまま「燃やすｺﾞﾐ」としての廃棄も推奨する。

14. 輸送上の注意

取扱い及び保管上の注意の項の記載による他、容器が破損しないように乱暴な取扱いは避ける。また、長距離の輸送の場合は、長時間の高温状態は試薬の劣化が考えられるため、航空機による輸送が望ましい。

国連分類･番号	該当せず。
航空法	該当せず。
消防法	該当せず。
製品総重量	約140g/ｷｯﾄ

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法	該当せず。
PRTR法	該当せず。
労働安全衛生法	該当せず。

16. その他の情報

引用・参考文献
15,911の化学商品、化学工業日報社(2011)
製品安全ﾃﾞｰﾀｼｰﾄ No.JW200268、和光純薬工業株式会社(2008.08.26)
製品安全ﾃﾞｰﾀｼｰﾄ No.051110033、東ｿｰ株式会社(2004.07.09)
国土交通省航空局監修、航空危険物輸送法令集、鳳文書林出版販売(2019)
JIS Z 7252:2019　GHSに基づく化学物質等の分類方法（日本工業標準調査会　審議）
JIS Z 7253:2019　GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーﾗﾍﾞﾙ，作業場内の表示及び安全ﾃﾞｰﾀｼｰﾄ（SDS）（日本工業標準調査会　審議）
GHS国連文書（仮訳 改訂4版）、GHS関係省庁連絡会議(2011)
経済産業省，事業者向けGHS分類ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ（平成25年度改訂版）(2013)

注）　この情報は、必ずしも充分ではないので、取扱いには注意をお願いします。
本ﾃﾞｰﾀｼｰﾄは情報を提供するもので記載内容を保証するものではありません。
新しい知見やそれに伴う従来の考え方の修正等により、記載内容に変更が生ずることがあります。
なお、注意事項は通常の取扱いを対象としております。